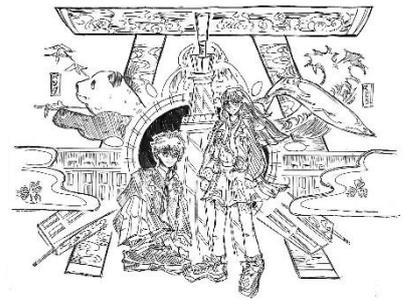


校外学習～都内めぐり～を終えて

校外学習を終えて1週間が経ちました。作文を書いた後に事後学習が始まりました。職場体験の事後学習のような蛇腹レポートを作成します。完成したら学習係が「協登賞」を選ぶ準備をしています。どの班が選ばれるのか楽しみです。ひばり文化の日に展示をする予定なので、納得のできる良いレポートを期待しています。

事後アンケートや作文を読んでいると、計画通りにいかなかったり、遅刻をしたり、係なのに場所や時間を把握できていなかったり、班員とはぐれたりと反省の言葉が多くみられました。失敗したら、次は失敗しないように気をつければいいです。実際に努力をしている人もいます。しかし、校外学習当日に遅刻をして班員に迷惑をかけた人の中に同じ失敗を毎日続けている人がいます。心当たりのある人は生活習慣を見直していきましょう。

今回はA組B組C組の作文を紹介します。



「都内めぐりを終えて学んだこと」

A組

国立科学博物館、上野動物園、浅草寺、東京タワー。この4箇所を巡って一番思い出に残った場所は浅草だ。浅草寺には外国人観光客がたくさんいる印象が強かったため、試しに私たちの班は外国人観光客数名に話しかけてみることにした。「あなたの出身はどこですか？」とゆっくりとした英語で問いかけると、彼らは優しく答えてくれた。偶然なのかは分からないが、外国人観光客の半分はオーストラリア出身で、その他はアメリカやベトナム出身、英語が通じず出身が分からない方もいた。カタコトな英語だったかもしれないけれど、外国人観光客の方は皆丁寧に接してくれた。また、中には着物を着ている方がいて、改めて日本の文化に誇りを感じた。

浅草寺に来たのは初めてだったけれど、事前学習で得た知識より多くの魅力や迫力、そして浅草寺における歴史的な文化を学ぶことができた。

今回の校外学習では、班員と共に協力し、トラブルなく都内を巡ることができた。全体的に時間の余裕がなかったこともあり、ゆっくり見られない場所もあったけれど、班長やコース係が誘導してくれたお陰で無事にそれぞれの目的地に着くことができた。初めて行った所も、何回か行ったところもそれぞれ魅力があり、新しい発見で学びを深めることができたと思う。

事後学習の次にはすぐ修学旅行の事前学習。修学旅行でも、トラブルがなく協力できて信頼しあえる学年でいられるようにしていきたい。

「絵のすごさ、班行動の難しさ」

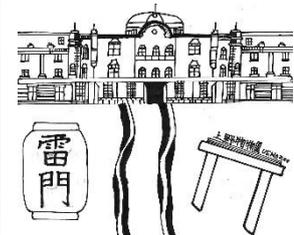
A組

僕は今回の校外学習で一番楽しみにしていたことがありました。それは国立西洋美術館のモネ展です。僕はゴッホとかモネのヨーロッパの絵がとても好きで、ちょうど校外学習の時期にモネ展をやっていることを聞いた時とても嬉しかったです。

校外学習当日。次は国立西洋美術館に行くということになり向かっていると、とてつもなく長い列がありました。なんの列だろうと思って先生に聞いたら「モネ展の列だよ。」と言われてとてもびっくりしました。平日だから並んでも30分はいかないだろうと思っていたので、もしモネ展に行ってしまったらコースの計画が崩れてしまいます。そこでとりあえずご飯を先に食べて、その時に考えることになりました。僕ともう一人の班員はモネ展に行きたいと班長にお願いしましたが、時間の予定がずれるからと反対されてしまいました。しかしなんとか説得をして並ぶ時間がさっきの90分より短くなっていくということになりました。いざ行ってみると70分になっていて列もさっきよりも断然短くなっていましたのでモネ展に行けることになりました。並んでいるときはみんなで話をしながら待ちました。

最初モネの絵を見たときは写真と全然違うと思いました。モネが「描いた」ということが分かるし写真よりも断然きれいでした。その後も進んでいくにつれ「これもあれもいいな」となり、モネの絵に魅了されました。

今回の校外学習では班行動の難しさと絵のすごさを体験することができました。この体験を修学旅行に活かしていい修学旅行ができるようにしたいと思います。



「協登できた都内めぐり」

B組

今回の校外学習の良かったことは、協登できたことです。去年の川越校外学習よりも、レベルアップした都内めぐりでした。

けどとても道に迷いました。清澄白河駅から、深川江戸資料館に行くときと、上野恩賜公園に行くときに道に迷いました。私はコース係だったので、もっと地図を見ておけばよかったなと思いました。道に迷ったときでも、班員で協力して無事にたどりつくことができました。スローガンの「友と協登」を意識して行動できてよかったです。

もうひとつの改善点は時間が足りなかったことです。池袋駅で乗り換えるときに五分では無理でした。また、見学時間も全然足りなかったなので、次の修学旅行では気をつけようと思います。徒歩で移動するとき、ほとんど走っていたので、もう少しゆとりをもった行動計画をたてようと思います。

時間がない中でも、楽しい都内めぐりでした。特に深川江戸資料館は、解説もしてくださって、タイムスリップしたような体験ができてとても楽しかったです。また行きたいと思います。

今回の都内めぐりでは、2年生らしい行動ができたと思います。いろいろな改善点はあったけど、班で協登できて、けんかもしなかったのが、満足できた都内めぐりでした。四か月後の修学旅行では、今回あった課題を生かして、最高の修学旅行にしたいです。



「校外学習で学んだこと」

B組

私は校外学習で上野・浅草に行った。とても楽しく、とてもいい経験になった。そこで気づいたことを紹介する。

ひとつは事前学習の大切さだ。最初は事前学習をしても何も変わらないと思っていたが、校外学習を通して大切さに気づいた。それは主に上野動物園でのことだ。私は事前学習で上野動物園のことを調べていた。いざ上野動物園に行くと調べていた通り、それぞれの動物に合った環境、場所が工夫されていた。それに効率よく回ることができた。このことから事前学習を知ることによって、多くのことを知ることができるし、倍楽しむことが出来たので大事だと感じた。もうひとつは協力性だ。今回私たちの班は、一人一人が自らの仕事をし、何も問題なく終えられた。けれどたまについていけなくなってしまった時があった。ただ楽しんでいるだけになってしまったので次からは積極的に自分の仕事をしていきたいと感じた。協力することは大切だし、協力することにより、班での仲が深まったので良かったし、特に大きなトラブルもなく、平和に終わることができた。

私は今回の校外学習で事前学習の大切さ、協力性について知ることが出来た。何より楽しく各地の歴史などを学ぶことができて嬉しかった。今回の校外学習のことをほかの行事にも生かしていきたい。



「学んだこと」

C組

私は今回の都内めぐりを通して学んだことが二つあります。ひとつは時間配分についてで、もうひとつがお金についてです。

まず「時間配分」についてです。初めのほうは時間通りに行動することができたが、見学場所が増えるにつれて時間がギリギリになり早歩きをしたり小走りで移動することがあったからです。このことを活かして修学旅行や日々の生活も先を見て行動することを大切にしていきたいです。

もうひとつの「お金」については、昼食代が思っていた以上に高すぎたことです。原因は昼食代の値段を食事係しか理解していなかったことです。食事係が調べたときは千二百円だったそうですが、お店に行ってみると約千六百円に値上げされていました。そこで私たちは軽食をやめ、また浅草に戻り時間をつぶして臨機応変に対応することができました。このことを活かして、修学旅行では事前に調べることを大切に、全員が理解して行けるように改善していきたいです。

これら二つの経験から、修学旅行ではこれ以上のマナーやルールをしっかり守りつつ、先のことを見ながら行動できるように日々の生活でも心がけ、修学旅行にもつなげていきたいと思います。



「都内めぐりを終えて」

C組

僕が都内めぐりを終えて学んだことは三つあります。

ひとつは、予定が遅れたとしても大丈夫なように時間に空きを少し作っておくことです。時間にゆとりをつくることで突然の事態にも対応できますし、何より自分の班ではハプニングがありました。そのせいで予定がずれてしまい、時間カツカツ、調べたままの次の場所までの時間を入れていたので、お昼がすごくずれました。それに続き最後の場所に滞在する時間の三分の二がなくなりました。だから時間に余裕のある計画にしたほうがよいと思いました。

もうひとつは、事前になるべく行くところまでの道を理解しておくことが大切ということです。自分はコース係で班のみんなを次に行くところまで案内することが自分の仕事でした。なのにも関わらず全然案内ができなかったのも、もっと先に道を覚えていたらと思いました。

最後は見どころを調べておいたほうがよいということです。自分の班は、国立科学博物館と上野動物園に行ったのですが、大体何があるかしか調べていなくて、適当に見ているだけでした。そのおかげで楽しめたこともありましたが事前に見どころを調べておくべきだと思いました。

僕はこの校外学習でもっとコース係としてできたことがまだまだたくさんあったと感じました。この経験を修学旅行に活かしていきたいです。

